学校番号	402

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校現代社会　新訂版（実教出版）						
副教材等	本質が見えてくる　新版　最新現代社会資料集 2021（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会のグローバル化，少子高齢化，情報化など社会の急速な変化が進む中，現代社会をとらえる枠組みを身に付けると同時に，現代社会について倫理や社会，文化，政治，法，経済，国際社会など多様な角度から理解することに重点をおきます。また，これらの学習と関連付けて，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察できる力を育成していきます。

２　学習の到達目標

①現代社会の基本的な問題として，地球環境問題，資源・エネルギー問題，科学技術の発達と生命，情報化の進展などを取り上げ，現代社会をとらえる枠組みとしての幸福，正義，公正の視点を理解する。
②法の支配の意義を理解するとともに，現代社会における法の働きなどについて学び，裁判員制度に代表される国民の司法参加の意義について考察する。
③現代の経済の仕組みを市場や国民経済の観点から理解するとともに，日本の経済の動きを学び，政府による調整を必要とする消費者問題や雇用と労働，社会保障の現状と課題などについて考察する。
④国際社会の仕組みと動きを政治，経済の観点から理解するとともに，国際社会の諸課題について考察し，国際社会における日本の役割について考える。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・現代社会の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題，人間にかかわる事柄に関心を高め，意欲的に追究している。 ・社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身に付けている。	・現代社会の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題，人間にかかわる事柄から課題を見いだし，広い視野から多面的，多角的に考察し、公正に判断している。	・現代社会の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題，人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択することができる。	・現代社会の政治，経済，社会，国際関係，人間としての在り方生き方にかかわる基本的な課題や事柄について理解し，その知識を身に付けているか。また，学び方を身に付けている。
評価方法	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	定期考査 ワークシート レポート課題	定期考査 資料の読み取り ポスター	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	地球環境を考える	・地球環境問題 ・地球環境問題への取り組み ・資源・エネルギー問題	○ ○	 ○ ○	○ ○ 	 ○	a: 地球環境問題の背景，対策、資源エネルギー問題に関心を持ち，意欲的に追究しようとしている。 b: ・地球環境問題や資源エネルギー問題について，幸福，正義，公正などの観点から多面的・多角的に考察している。 c: 地球環境問題や資源エネルギー問題に関する課題について，写真等を適切に読み取ったり、必要な諸資料を書籍，新聞，インターネットなどを通じて得た情報を取捨選択できる。 d: 地球環境問題や資源エネルギー問題が持続可能な社会の視点から重要な課題であることを理解している。	レポート課題 定期考査
前期	科学技術の発達と生命	・生命科学の発達と生命倫理 ・先端医療 ・高度情報化社会の現状と問題点	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○	 ○	a: 医療技術の発達等，科学技術の発達、情報化社会がもたらす課題について，社会の在り方や自己の生き方の観点から意欲的に考察しようとしている。 b：情報とプライバシーの関連について，幸福，正義，公正などの観点から多面的・多角的に考察している。 c: ・科学技術の発達と生命に関する課題について，教科書記載の図や写真を適切に活用している。 d: 情報化の進展とコミュニケーション様式の変化，ＩＣＴの革新に伴う社会の変化について理解している。	レポート課題 定期考査

前期	青年期と自己形成	・青年期とは ・青年期と自己 ・職業生活と社会参加 ・現代社会と青年の生き方	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○	a：現代の青年期の特色やアイデンティティの確立の意義について，自分自身の課題として考え，追究しようとしている。 ・パーソナリティの形成について，意欲的に考察しようとしている。 b：アイデンティティの意味について自らの生き方の視点も含めて考察している。 c：グローバル化や少子高齢社会に関する資料を，新聞やインターネットなどから収集し，適切に活用している。 d：キャリア開発の意味とキャリア形成に資する経験や学習の意義について理解している。	討論 定期考査
前期	他者と共に生きる倫理	・よく生きるために ・民主社会を生きる倫理 ・私たちの倫理的な課題 ・日本の伝統思想と外来文化の受容	○	 ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	a：近代以降の科学のものの考え方や人間の尊厳の思想が，今日のものの考え方の基礎になっていることに関心を持ち，追究しようとしている。 b：理解したこと考察したこと，関心を持ったことなどを，適切な方法で表現している。 c：教科書の本文の内容を比較しながら，思想やものの考え方を整理している。 d：20 世紀以降の思想の課題と日本の伝統思想の考え方について理解し，その知識を習得している。	定期考査

前期	現代の国家と民主政治	・人権保障の発展と現代社会 ・国民主権と民主政治の発展	○	 ○	 ○	○	a: 世界の政治体制について，日常の政治報道などとも関連付けて関心を高めている。 b: 民主政治の成立における，社会契約説の意義や権力分立の考え方，法の支配などの意義について，歴史的経過も視野に入れながら考察している。 c: 社会契約説の資料やフランス人権宣言，人権保障の歩みなどの資料を適切に読み取り，適切に活用している。 d: 世界の政治体制について，議院内閣制，大統領制の特色と違いや、社会主義の政治体制について理解している。	ポスター 定期考査
後期	日本国憲法と国民生活	・日本国憲法の成立 ・平和主義と日本の安全 ・基本的人権の保障 ・人権のひろがり ・人権保障と裁判所 ・政治機構と国民生活 ・地方政治 ・選挙と政党 ・政治参加と世論	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:日本国憲法の原理及び日本国憲法が果たしている日本の政治における役割や意義について，意欲的に考えようとしている。 b:地方自治の本旨がどのように地方公共団体の政治に具体化されているか，身近な視点も含めて考察している。 c:基本的人権に関わる様々な事例，判例について教科書記載の資料を効果的に活用している。 d: 日本国憲法の平和主義の原則を理解するとともに，自衛隊や日米安全保障条約の意義や課題について理解し，その知識を習得している。	ワークシート 定期考査

後期	国際政治の動向	・近代の国際社会の成立とその変容 ・国際法の発展 ・安全保障と国際連合 ・冷戦期の国際政治と現代の国際社会の課題 ・核兵器と軍縮 ・基本的人権と人種・民族問題 ・国際社会のなかの日本	 ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a: 主権国家の要素である領土，領海，領空などが，漁業や交通等にどのような影響を及ぼすかについて関心を持ち，追究しようとしている。 b: 国際連合の安全保障に果たす役割や地域的な安全保障の取り組みについて考察している。 c: 冷戦と軍拡・軍縮の流れについて理解するために，関連する資料を適切に活用している。 d: 安全保障に果たす国際連合の課題と平和維持活動の働きや，地域的な安全保障の取り組みについての知識を身に付けている。	資料の読み取り 定期考査
後期	現代の経済社会と政府の役割	・経済社会の形成と変容 ・市場のしくみ ・現代の企業 ・経済成長と景気変動 ・金融機関のはたらき ・政府の役割と財政・租税	 ○ ○	 ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 資本主義経済の成立と変容，企業の形態や活動，現代の企業の特色について，関心が高まっている。 b: 資本主義経済成立以降の経済社会の変容について，市場機構の課題や政府の働きの視点から考察している。 c: 信用創造や金融政策に関する図を適切に活用している。 d: GDP などの経済の指標の使われ方や意義，景気変動と物価，金融の仕組みと金融機関の役割について理解している。	定期考査

後期	経済活動のあり方と国民福祉	・日本経済の歩みと産業構造の変化 ・中小企業と農業 ・公害防止と環境保全 ・消費者問題 ・労働問題と雇用 ・社会保障	 ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ 	a: 中小企業や農業の日本経済における意義や役割，課題について関心を持っている。 b: 情報の非対称性と消費者主権や消費者の権利との関連，クーリングオフ制度や製造物責任の考え方について考察している。 c: 社会保障制度の概要や歴史的変遷，公的年金制度の仕組みについて理解するために，教科書記載の図版や年表を適切に活用している。 d: 四大公害問題の背景と判決，政府の公害環境対策，都市公害などの環境問題の新しい展開と対応，循環型社会形成に向けた取り組みについて理解している。	定期考査 討論・発表
後期	国際経済の動向	・国際経済のしくみ ・グローバル化と国際経済 ・地域経済統合と新興国の動向 ・発展途上国のゆくえ	 ○ 	 ○ ○	 ○ ○	○ ○	a: グローバル化した経済の動きについて，報道等の情報も含め関心が高まっている。 b: 一国の経済が世界中に影響を及ぼすグローバル化の時代の課題について考察している。 c: ロシア，中国，韓国，台湾，シンガポール，ASEAN 諸国の経済の動向に関する報道記事等の資料を収集し，適切に活用している。 d:南北問題の背景にある経済構造や貿易の構造，発展途上国間の格差，格差是正に向けた取り組みについて理解し，その知識を身に付けている。	資料の読み取り 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。